

武陵会会報

通巻 第66号

■編集発行 武陵会広報担当
佐賀県立武雄高等学校 武陵会事務局内
〒843-0022
佐賀県武雄市武雄町武雄5540-2
TEL・FAX 0954-23-3712

■卒業生総数 32,044人 (2009年3月現在)



新任のご挨拶と 規約改正について のご説明

昨年10月18日の武高百周年記念式典、祝賀会には約800名の参加を頂き盛大に終える事が出来ました。合わせて記念事業として記念誌、DVDの作成及び配布、第1回目の奨学生への給付の開始、武陵会館(同窓会館)の新築など3カ年に亘る大事業を無事完了する事が出来ました。この会員の皆様の温かい母校愛の賜物と思い、実行委員会を代表して心より感謝申し上げます。

さて去る5月17日の武陵会総会におきまして武陵会会長に選出され、今後の同窓会の運営を託されました。微力ながら役員の方々、会員の皆様に支えられつつ粉骨碎身の努力を傾ける覚悟です。今後も今まで同様のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしく御願ひ申し上げます。

そこで、今回の総会で会の規約改正が議題に上がりご承認を頂きましたが、それについて簡単に説明させていただきます。今回百周年事業を

すすめて行く中で会員各位、PTA、武高の先生方から生の声が聞こえてまいりました。同窓会からは、今後母校の事、同窓生の動向などを知りたいので母校からの情報を提供して欲しい。PTAからは現役の生徒が武陵会に入会する為の入会金(毎月300円・総額10,800円)等の負担が重過ぎるとの声。また学校側からは中高一貫となり、教職員の校務が多忙化し同窓会の仕事との両立が困難になったなどがあり、それらすべてに対応する為には次の事項を余儀なくされました。

1. 毎年全会員約2万人(現在連絡可能な人数)に武陵会会報の郵送。
2. PTAの負担軽減の為に同窓会会員の負担を上げる。
3. 武陵会館に常設の同窓会事務局を設け職員を常駐させる。(平日の午後1時より4時まで)などです。

右記の事項の実現の為に、副会長以下役員を増員し、実務に励んでいたたく事とし、財源につきましては今までの会費制度(回卒毎1万円)を改め、個人会員に年2千円(卒後10年未

満は免除のご負担を御願ひする事になりました。これにつきましては、現在、支部の中には既に会費を徴収して運営して来られたところもあり、本部と支部の今後の円滑な運営を行う為に、より慎重な調整を行っている所であり、会費徴収の時期につきましては次年度より御願ひすることになりました。会員の皆様には余りにも唐突な事で戸惑われることでしょうかお叱りを覚悟の上でご報告させていただきます。

百年の歴史と伝統ある名門校県立武雄高校の名誉ある存続の為に是非ご理解いただき、ご協力下さいますよう伏して御願ひ申し上げます。

平成21年12月吉日



武陵会 会長
山口 幹夫

プロフィール

有限会社 山秀 代表取締役
武雄市武雄町宮野町在住
昭和35年武雄高校卒業(12回卒)
昭和40年慶応義塾大学法学部卒業

東京支部総会を終えて

武陵会東京支部
高35回卒代表幹事

多久島 昌史

平成21年度を以つて43回目を迎える東京支部総会が6月12日(土)に昨年同様、新宿の京王プラザホテルにて11時より開催されました。その準備に当つたのが我々35回卒の在京メンバーでした。当支部では、卒業年次ごとの持ち回り幹事を、ひとつ下の代に引継いでいく事が慣例となつており、34回卒の先輩方より昨年9月にバトンタッチして、パーティー当日までのプロジェクトがスタートしました。

今年から45歳の誕生日を迎えるこの面々が企画を知らされ、しばしば口にする言葉が「何そい？そがん集まりのあつたど？」でした。この唐突で、降つて湧いたような役回りに違和感を覚えた仲間も少なくありませんでした。それを受け一つのテーマが浮上りました。



それは「この歳になる前のもつと早い段階、即ち武高新卒の大学生や社会人を招待し、認知度アップを図ろう」でした。幸い、現地武雄高校には同期の江口孝之教諭が在籍しており、早速新卒業生の上京予定者に東京支部の存在と、6月に総会と歓迎会が予定されている旨を伝えてもらいました。その後、生徒より新連絡先が返信はがきで彼に寄せられ招待に漕ぎつける事ができました。また、既に出席経験のある女子学生にも協力を仰ぎ、2〜4年生の在京生の輪も広がり、総勢23名の学生を新メンバーとして迎える事ができました。

話は当日の話に移ります。

第一部総会では、来賓(文末に紹介)にご挨拶を頂いた後、記念講演として同期を代表して慶応義塾大学理工学部の松尾亜紀子教授に依頼しました。彼女は最年少で国土交通省の航空事故調査委員会委員に就任するなど多方面で活躍しており、最近の研究テーマを映像を交えながら話してくれました。

第二部懇親会では、顧問である中村仁様の乾杯の音頭で幕を開け、歓談の輪の中には学生も加わりました。そこにはお盆や正月に親類一同が集い、久々に帰省した学生と年長者が食事を共にしているかのよう、古きよき佐賀の原風景があり、一瞬東京にいることを忘れそうになるような懐かしさを覚えました。その後、先述の江

口君より武雄で行われた百周年記念式典のビデオの解説と、大学生の紹介があり、頂戴した協賛品でのお楽しみ大抽選会、校歌斉唱と続き、昨年の代表幹事の原和良様(高34回卒)の万歳三唱で盛況のうちに閉幕しました。

最後に改めて、今回の総会は当初より開催の企画準備に携わつてもらつた在京の同期のメンバーの、無償の友情なくしては成就できなかったという事を申し上げておこつと思ひます。仕事を終えた後や、主婦業の傍ら家事の合間を縫つて土日、平日問わず協力してくれました。地元同期応援組の協力にも恵まれ、いのししソーセージなど珍しい武雄新名物の手配をしてくれた市会議員の牟田勝浩君、今回の司会を買つて出てくれた、それこそブロの司会の森恵美さんはじめ、総勢11名が東京に駆けつけ手伝つてくれました。

「20世紀少年と違い、友達の再会の向つにあるのはハッピーエンドでした。多忙な年代ですが、25年ぶりの学園祭だと思つて自らが楽しむつもりで仲良くやつて下さい」と一言添えて、次世代に引き継ぎたいと思ひます。

来賓 竹森唯幸様(武雄高校校長、荒川信義様(招待恩師)、山口幹夫様(武陵会会長)、篠田いつ子様(武陵会副会長)、井上正三様(武陵会事務局)

「20世紀少年と違い、友達の再会の向つにあるのはハッピーエンドでした。多忙な年代ですが、25年ぶりの学園祭だと思つて自らが楽しむつもりで仲良くやつて下さい」と一言添えて、次世代に引き継ぎたいと思ひます。

それぞれに輝いて…

武陵会関西支部
第三十六回総会終わる

武陵会関西支部
事務局長 高10回卒

樋口 基子

第36回関西支部総会は、去る7月12日(日)、正午からホテルグランヴィア大阪において開催されました。母校では昨年10月創立百周年記念式典及び祝賀会が成功裡に行われ、その喜びを支部も分かち合いました。

当日の司会・進行役は、12回卒の奥勝利さんと26回卒の小堀順子さん。貝原俊民支部長(併中2回卒)の関西支部の歴史にふれる開会あいさつに続いて、本部より新会長の山口幹夫氏、同じく新任の武雄高等学校校長竹森唯幸氏のごあいさつをいただき、来賓の方々の紹介が行われました。続いて会務決算、監査報告の後、新役員紹介があり議事は終了しました。

今回は、富山大学名誉教授(高7回卒)宗孝文氏による「齋(なすな)花咲く」持つ事と在る事」と題する講演が実現しました。昨今の厳しい世相の中で、心の在り方について語られ、その優しい語り口は会場にしみわたる一時でした。



富山大学名誉教授
宗孝文氏
(高7回卒)

www.ougiya.com

www.kankosui.com



焼 肉 庵 Ougiya

〒843-0022
佐賀県武雄市武雄町大字武雄7399番地
Tel 0954-22-3188 Fax 0954-23-4963
E-mail info@ougiya.com



料 亭 鶯 古 雄 Kankosui

〒843-0024
佐賀県武雄市武雄町大字富岡7481番地1
Tel 0954-22-4100 Fax 0954-22-4300
E-mail info@kankosui.com

懇親会の初めは、総会の度に会場の一角に華やかな姿を見せられる高女の先輩5名の方に登壇を願ひ、乾杯の首頭をとって頂きまし。武雄高女卒として凛として居られる姿に敬服した場面でした。

会場のあちこちの談笑はいうまでもなく、毎回「あら、あの店の息子さんやっただと？」、「丁先生の息子さんで知らんやっただよ」「お姉さんは元気にしとんさあね」「懐かしか…」と新たな出会いが繰り広げられます。



紅白のハチマキを首に応援歌、校歌を力強く。

やがて、紅白のハチマキを首にかけ、肩を組み応援歌を歌う姿はまさに青春！そのものです。毎回のことながら三校の校歌には万感の思いがこめられクライマックス。顧問の志田光次さんは(旧中1回卒)のこぼれんばかりの笑顔と共に副支部長の宮田武史さん(高3回卒)の万歳三唱で閉会となりました。別れを惜しむ会場の雰囲気どっぞその元気を次回につなぎましょう。

福岡支部総会を終えて

武陵会福岡支部
高15回卒代表幹事

水辺 紘治

百歳バンザイ

福岡支部総会を2009年6月14日(日)に博多パークホテルにて開催しました。今回で51回目の開催となり、支部会員74名の出席となりました。また、来賓として武陵会会長山口幹夫氏、副会長徳永壮太郎氏、同尾崎葉子氏、武雄高等学校竹森唯幸校長、恩師牟田晃先生、同大宅正恒先生に出席いただきました。

開会后、大宅康弘支部長の退任挨拶に続き、山口幹夫武陵会会長の新任挨拶及び百周年事業の説明があり、次に竹森唯幸校長より同窓会、奨学金、同窓会館の利用状況などについてお話がありました。その後、議事に入り、20年度の収支報告及び監査報告が行われて承認されました。続いて役員改選を提案し、承認を受け、田中恒房新支部長が挨拶し、新しい方針を述べて閉会。

一旦休憩の後、春日軽音楽サークルの演奏をみんなで楽しみました。曲目はビートルズや石川さゆりの歌、さらにマイウェイ、氷雨など幅広い選曲でした。次に宴会場に移り、卒業回ごに出席し、司会者の洲上マサ子氏により宴会がはじまりました。田中哲夫氏の祝辞「猩猩」に、全員で歌詞を見

ながら唱和し、ちよつと心が引き締まりました。次に松浦民子・内田登代子氏組が登場し、フラダンス「南国の夜」の披露。コンビの艶やかな衣装と踊りに、つい引き込まれ、アンコールに添えてバックダンサー(山口会長ほか男性6名がきれいなレイを付けて)も参加。大爆笑となり、その勢いで会場はさらに盛り上がりました。牟田先生のお話や全員による校歌斉唱後、徳永副会長による万歳三唱でお開きに。



当日の出席者の中には、御年百歳の高女16回卒の光武照子さんのお姿も。お孫さんと車椅子でお見えになり、軽音楽やフラダンスなどを十分に楽しめました。出席者全員でますますのご長寿をお祈りしました。

福岡県在住の方で、福岡県へ転勤の方や同窓会支部をご存知でない方がございましたら、是非ご紹介ください。同窓生の輪を広げていければと思います。ご連絡は福

岡支部事務局までお願いします。
※事務局 福岡市早良区室見

TEL&FAX 1-21-10 水辺 紘治

TEL&FAX

092-8221-5808

携帯 080-1707-0019

固いきずなで存続へ

ピンチの長崎支部同窓会

武陵会長崎支部

臨時事務局 高7回卒

執行 優

14回目を迎えた平成21年度武陵会長崎支部同窓会(原口智春支部長)は10月31日、29人が参加して開きました。解散か存続かを問う総会。真剣な討議をえて、存続に決まりました。母校は会員共通の心よりどころ。先輩・後輩の固い絆が一段と深まりました。

長崎支部は1996年(平成8年)に長崎在住者220人で発足。その後、長崎周辺市町にまで拡大、充実を図ってきましたが、会員の高齢化、健康問題、年金受給の年齢引き上げなど中高年層にとつて厳しい現実が直面。ここ数年は存続の危機を迎えながらも「継続は力なり」を信じて頑張ってきました。しかしながら同窓会出席者は創立当初の半数の30人近くに減り、運営の中心となる事務局員の後継者確保も困難になり、事務局不在の現状でした。

総会では「事務局の仕事は大変茶話会的なものでよいのではないか。事務局は会員の消息などを知

佐賀県 楽道会

代表取締役 平川 比登士 (高16回卒)
佐賀県武雄市北方町大字大崎2492-3
TEL.0954-36-2858

西九州ゴルフガーデン

佐賀県武雄市北方町大字大崎2491-1
TEL.0954-36-5501 FAX.0954-36-5502

る上で大事。会則を簡略化して運営しやすいようにしてはどうか」など、事務局不在を解消し、なんとか継続の道を探ろうとする真剣な意見が相次ぎました。採決の結果は存続21で過半数を占め、ハガキのアンケート結果でも、86人の回答に存続22、解散17、中断10、事務局の設置如何で判断など、白紙・その他37でした。

懇親会も、和気あいあいの歓談と元氣いっぱいこの歌声が響き、学年を超えた「充実と感動」の熱い思いのひとときでした。旧制中十五回卒の大川和さんの乾杯で始まり、母校百周年記念式典のビデオ放映のなかで、ビッグな景品が当たるビンゴ、青い山脈や長崎の鐘などの熱唱に、青春のあの日に思いを馳せ、最後は校歌の大合唱で、再会を誓いました。

11月には臨時事務局8人で反省会を開きました。総会での貴重な意見をもとに①同窓会は毎年開催する②事務局の負担軽減を図る③会則を簡略化する一方向を申し合わせました。来年の次期開催時には再生「長崎支部」の姿を現わせるものと確信しております。

しかし、まだまだ多くの課題を抱えています。もっと多くの人たちに参加していただきたい、若い人も誘い合って笑顔を見せて欲しい、事務局体制の確立も急務です。会員の心支援と協力をえて、さらに充実した同窓会になるよう努力していきます。

同窓生の近況

がらりり出張所
所長の日々

高18回卒 松原 貞弥



毎月、吉祥寺で行っている北裏鐵道運転会で。

同窓会より定年後についての課題を頂戴しましたが、会社を辞めてまだ数年の若輩者？趣旨に沿ったことを書けるかどうか、些か不安があると言いつつ、して本題に入ります。

2005年10月、定年を2年残して辞めました。些かながらの家業があり、毎日が日曜日というわけにはいかず、仕事を覚えるのに忙しい日々でした。それでも現役時代よりもグーツと自由時間が増えました。この時間をどう活用するかについて詳細に考えたことはなかったのですが、その日以来遵守しているのは朝の身だしなみを整えるということとです。終日のパジャマ姿は止めることにしました。

そして、組織を離れると全て自分でやるという大原則に慣れ

るのが大変でした。知人から依頼された某工業系大学の非常勤講師の仕事では、現役時代にはあつという間に集まった資料が整わずに苦慮しましたが、幸いにも200ページ余の教科書を作成できたのはネット時代ならではのことで。定年人生にパソコンとネットは必須だと、思いがけないことから感じました。辞めてからホッとしたことは四苦八苦のうち、怨憎会苦からの解放でした。組織のしがらみが無くなった快適さを十二分に感じている所です。ですから、お付き合いは減るのかと思っていたところ、意外にも幅広い年齢層の友人に恵まれています。これはひとえに若いころからの趣味の効用です。趣味には書きさも年齢も超えてしまう不思議な力があるようです。趣味様々については私のブログ「からくり出張所」をご覧ください。

- ① 定年を機に何かを始めることは難しいようです。長期間にわたって築いた趣味などがその後を楽しませてくれるでしょう。
- ② 人は飽きやすく、仕事ではない趣味の継続は難しいので、十種類は趣味を持ち、人生の倦怠感を乗り切る事にしましょう。この先の課題は趣味を増やすことです。
- ③ そして健康。家族とともども健康であればこそ、第二の人生も楽しめるでしょう。暴飲暴食を慎む、これも課題です。このような考えで第二の人生を歩み始めましょう。この先も先輩諸氏のノウハウを大いに参考にしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

プロフィール

東京都世田谷区在住。
自営業及び芝浦工業大学工学部非常勤講師。

1970年電電公社入社、主にコンピュータシステム開発を担当。2000年3月にNTTからドコモ・システムズ(株)に移り2005年退職。

医療法人 篠田整形外科

武雄市朝日町甘久206-3 TEL.0954-23-6000

- 整形外科 ● 内科 ● 小児科
- リウマチ科 ● リハビリテーション科

理事長 篠田 侃 副理事長 松尾 宏

介護老人保健施設

コスモス

武雄市武雄町永島13821 TEL.0954-20-1231

- 入所 ● 短期入所 ● 通所リハビリテーション
- 在宅介護支援センター ● 居宅介護支援事業所

同期会 開催

**高3回卒業
58周年記念と
喜寿の祝いの同窓会**



平成21年10月14日(水) 武雄センチュリーホテルにて開催。

**高5回卒業
”ほろ苦い思い出もある
クラス会“** 田中 隆

今年の同期会は錦秋の京都「新・都ホテル」で開催した。冒頭の川柳は級友、江原さんが佐賀から会に寄せたもの。
昭和28年卒の私どもは、毎年各

地持ち回りで開催を続けてきた。今年は久しぶりに京都で再会の機会を得た。

挨拶に立った田中 隆は「15年前開催の私達は大地震に遭遇、同期生に死者こそ出なかつたが、家の倒壊等の被害や大きなシロツクをうけた。そこへ、全国の同期生から続々と励ましや義捐金を受け、嬉しかった。今日はその恩返しに…」と挨拶を切り出した。中締めめの挨拶にたつた古賀主一君も「同期生の皆さんからの励ましがあつてこそ今日の私達がある…」と頭をさげていた。

会は吉良富貴子さんのシャンソンの唄で開始。彼女は大御所・芦野宏氏に師事する高弟。古都に流



れる歓迎の唄に暫し聞き惚れる。

司会の石丸盛之君は「我々は、高齢者の仲間入り、常連の仲間が体調崩し等で見えないのは残念…」と零していたが、この年なればこそ仏文化も興味可。

乾杯の音頭をと石丸君が紹介すると、会場にドヨメキが：

吉田勝豊君が登壇。まさに話題の人登場。武雄高校野球部!? 卒で初めてプロ球団・東映フライヤーズに迎えられ以後球界で鳴らした人、元氣よく乾杯。その後は、「ごきやんとつたト…」言葉も席も入り乱れての騒動で、自慢のカラオケも続く。

夜も更けてから、武陵讃歌を板屋君のリードで合唱し散会。

翌日は、早朝より京都の名勝地「嵐山観光」に出発。先導は武内一瑛君。昨夜「嵐山は私の生誕地、今も嵐山に居住」と初めて話していた。案内する彼の様子は自分の屋敷をガイドするよう丁寧さ、誇らしさがみえ微笑ましい。

京都五山の雄、天竜寺を拝観し、嵐山の渓流に浮かぶ屋形船に乗船し、紅葉を愛でつつ京料理を賞味した。

夕刻、次回東京での再会を約しつつ、無事散会とした。

**高7回卒業 七草会
ふるさと武雄大会**

緒方 慶久

平成21年10月18日(日)、新高7回

卒の同窓会（七草会）を春慶屋ホテルで開催、92名が参加しました。今般の実施にあたって実行委員会が申し合わせたことは①母校創立百周年直後だから記念事業の経緯、式典の様子、新装なつた武陵会館のことを報告する ②ふるさと武雄で何回も同窓会を開催しているが、温泉通りでの七草会は初めて。国の重要文化財・武雄温泉楼門をバックに旧交を温めたい、そんな内容を組み立てようということでした。



実行委員会は4月に発足し、6回の会合を持ちました。5月には、10月開催を決め、速報予告の形で日程と場所を周知しました。8月には出欠票返信用はがき、欠席者は近況メッセージを依頼、観光ツアー案内(母校訪問、飛龍窯で絵

武雄温泉ハイッ



武雄市武雄町大字永島18091
TEL 0954(23)8151

代表取締役社長 野田 耕三
(高25回卒)

武陵会会員様限定 特典

この広告をご提示下さい。有効期限：平成22年10月31日

【宿泊割引】

日曜～金曜のご宿泊
1泊朝食付き優待料金

おひとり様 **4,980円**
(繁忙期等は除きます)

【同窓会割引】

同窓会ご利用の宴会
20名様以上の場合

幹事さま1名分の
料理代金サービス!!

付け体験、がばいばあちゃん口ケ地巡り、アトラクション、観光チラシ等を同封して発送しました。
 斯くして、10月の本番を迎え、また、「寄る年波を笑いにくるむ出会いかな」「年をとり美人薄命うそと知る」「お辞儀して共によるける同窓会」、開会前のフロントは賑やか。

総合同会は田島茂記、小柳幸代両君。「人間の最終的な幸せは、健康で長生きし活気ある生活を送ること。楽しい七草会に…」と。

乾杯の音頭は最遠来の宗孝文君。次期開催地に決定した福岡の榊島義幸君は受け入れの決意表明を。万歳三唱は関東の西山吉洋君。

七草会は学んで長生き、若さは好奇心、今般の締めは、さようなら…と言っておこう。また会えるから…。楽しい七草会でした。

**高11回卒業
50周年記念同窓会**

実行副委員長 庭木 信昌

平成21年度は我ら509名の同窓生一人ひとりに希望を膨らませ、あらゆる事象に出会ったときの判断力、決断力の土台を涵養してくれたわが母校・佐賀県立武雄高等学校を卒業して50年という記念すべき年を迎えました。そこで、50年を記念して同窓会を是非開催しようという気運が高まりました。それを受けて昨年の暮れに実行委員会を立ち上げ、上田稔実行

委員長を中心に、実行委員全員が同窓会の成功に向けて準備を進めてまいりました。

周到な準備の下、平成21年9月21日(日)、敬老の日、老舗旅館「花月」にて盛大に開催しました。当日はご多用にもかかわらず恩師の一人、瀬幸亀、坂本武一郎、熊谷正香、松浦まつ江の各先生、全国各地から102名の同窓生諸君にご出席いただき、会場は久しぶりにお会いする懐かしい笑顔にお目にかかれた喜びで満ち溢れていました。

開会前に「花月」の前の広場で武雄温泉楼門をバックに記念写真を撮りました。出来上がった写真は生物的外観は少し年を感じはするものの、気持ちは青春真っ盛りもの、50年前とひとつも変わらぬ雰囲気はほとばしり出ているものでした。



た。記念式典では今は亡き44名の同窓生への黙祷、実行委員長挨拶、経過報告、恩師の先生の懐かしいお話、江島庄子さんの祝舞と続き、祝宴となりました。久しぶりに会った恩師、友との会話はひとときわ

ブルテージも上がり、時間のたつのも忘れて大いに盛り上がりました。いつまでも健康でさわやかな人生を送ろうとお互い誓い合い、校歌の大合唱、末次大成君のお開きの言葉で散会しました。その後、各クラスでは2次会、3次会と盛り上がり、武雄の街を満喫し、再会を約束し別れを惜しみました。

なお、出席予定者106名、賛助会員88名からいただきました。浄財から、母校同窓会に武高第11回卒50周年記念同窓会として10万円の寄付をさせていただきました。

終りに、新生武雄高等学校の更なる発展と、後輩諸君の一人ひとりの文武両道に亘る更なる奮起を願っています。

**高15回卒業
45周年記念同窓会**

実行副委員長 水辺 紘治

サクラサク デビュー45周年今年のサクラだよりで一番乗りした福岡の町へようこそ。平成21年3月20日(金)、JALリゾートシーパークホテル福岡に、64歳のおんちゃんやおぼつちゃん、遠くは千葉県をはじめ全国より男性37名、女性30名が集まり、社会へデ

ビューして45周年記念の同窓会を開催しました。

来賓は9組担任の田栗薫先生。卒業時とお変わりなく背筋を伸ばしてお見えになりました。17時受付開始。5年振りとはいえ、お顔と名前が結びつかないまま、知ったかぶりして話していると、だんだん若き口の面影を思い出しました。



17時半、酔っ払わないうちに記念撮影をして、クラス毎に着席。総合同会は古賀常司氏。事務局の水辺紘治の長い開会の辞、溝上敬暉氏より物故者追悼、実行委員長の堀純正氏挨拶、池田渉氏による乾杯の音頭。ところが、同期会への思いが深く、話が長くて我慢できずに何杯も乾杯する人も。来賓の田栗先生へ記念品の贈呈、遠方の友よりの祝電披露と続き、泉流の名取の隈本絹江氏による鶴亀の

税理士法人
武雄中央会計事務所
 税理士 草場 朝臣 (高14回卒)
 税理士 宮崎 真一郎
 〒843-0022武雄市武雄町大字武雄5632番地
 TEL(0954)22-4101

暖房も、冷房もガスがいちばん
 快適空調ならGHP(ガスヒーポン)
武雄ガス株式会社
 取締役会長 田代千鶴子(高14回卒)
 本社/武雄市武雄町大字永島15943オートガススタンド
 TEL(0954)23-2158
 拠点営業所/武雄・鹿島・大町・塩田・長崎県波佐見
 グループ営業/リフォーム部門)ライファ武雄(携帯電話部門)auショップ武雄
 URL <http://www.takeogas.com/>

祝舞で、賑々しく公式行事は終り、やっと楽しい宴となりました。

ご馳走そつちのけでおしゃべりに終始。現況、年金、健康、孫、友人の情報など話題は尽きません。その間、写真班蒲原康行氏はパチパチとスナップ写真を撮り続け、有志の方にご寄付いただいた品々が福引が行われました。一言づつお話をいただき、司会の千綿俊機氏と美声で有名な長谷川治氏のリードにより、定番の校歌斉唱では全員で声高らかに歌いました。閉会の辞で「また、5年後の50周年で会いましょう」と約束をして散会となりました。

2次会はカラオケ教室、各々の場所でおしゃべり、市内の子供の家へ、後ろ髪引かれる思いで家路に付く人などそれぞれに別れて。

翌日は福岡市美術館(レオナード藤田展)、福岡城舞鶴公園(サクラとピールと弁当)、太宰府天満宮(梅が枝餅)、九州国立博物館、甘木鉄道で秋月へ小旅行、三瀬峠を越えて蕎麦を食いに、墓参りなどそれぞれの春を楽しみました。

昨年、武雄高校は百周年を迎えました。その歴史の中で、我々の45年の時間の重さは何を物語るのでしょうか。昭和19年から20年に生まれ、戦後の混乱期に成長し、社会に出てからは数々の苦勞と闘いながらも楽しみを見つけて、激動の時代を過ごしてきました。しかし、この時間を共に生きて来た呼び捨てができる同級生は、とて

も大切な宝物だということをつくづく実感した2日間でした。最後に、幹事の皆さん、有難うございました。

高20回卒業 3年2組還暦クラス会

報告 光富 義仁

担任の野田巖先生を囲んで、佐賀市の「風雲焼鳥 関が原(同級生の石井君経営)」で開催しました。高校時代に先生にいつぱい迷惑をかけたメンバーをはじめ、東京からの2名を含み総勢16名で盛り上がりしました。

野田先生が以前倒れたと聞いていたので心配していましたが、現役時代と変わらずお元気で、2次会の「ラウンジパシヤ(同級生の中村君の次男経営)」では女の子と元気にカラオケを楽しまれ、心配して損したと思えるほどお元気でした。

参加した一人ひとり、先生にこれまで伝えられなかった感謝の言葉や、もう時効だろうと過去の悪事を懺悔して楽しい一夜でした。2年後に野田先生を囲んで温泉旅行をしよと再会を誓って解散しました。



武高百周年記念事業収支報告書

平成18年5月～平成21年5月17日

収入		
募金	79,253,777	6191件
広告	17,800,000	99件
PTAより繰入金	7,356,458	
武陵会館建設積立金繰入	10,128,645	
奨学金積立金繰入	13,187,441	
雑収入	171,081	利息等
記念誌代	8,373,000	
懇親会会費	3,310,000	100周年祝賀会 @5,000×662
落成祝賀会会費	116,000	@2,000×58
お祝儀	470,000	
計	140,166,402	

支出		
事務局費	5,207,618	ホームページ人件費 振込手数料等
総務部会	17,512,352	武陵会館落成式 趣意書発送 会報印刷 記念品等
記念誌部会	7,879,715	記念誌・ 記念誌発送代
記念式典、祝賀会	8,084,736	祝賀会祝宴経 費・式典経費他
記念事業(会館改修)	64,876,405	設計・建設・解 体費 陳列棚・椅子・ 机等
記念事業(奨学金)	19,440,000	奨学金
支払合計	123,000,826	
剰余金	17,165,576	
計	140,166,402	

百周年記念事業決算報告

武雄高等学校 創立百周年記念事業事務局

富岡 正信

去る4月23日に開催された武雄高校創立百周年記念実行委員会の最終会議でご承認いただきました百周年記念事業の決算書を掲載し、報告に代えさせていただきます。

会員各位の物心両面からのご協力に重ね重ね、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

剰余金処分 佐賀県立武雄高等学校創立百周年記念事業剰余金 17,165,576円を下記の通り処分致します。

1. 武高がんばれ基金 ……1,000,000円
2. 武陵会館積立金 ……5,000,000円
3. 年間会費積立金 ……11,165,576円

平成21年5月21日
佐賀県立武雄高等学校創立百周年記念事業
実行委員長 山口 幹夫

武雄センターホテル

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町武雄 4075-13
TEL 0954(22)2200 FAX 0954-22-2888
<http://www.mirokuresort.com/>



快挙!! 日本の高校生初

米国でミッシヨン成功

母校武雄高等学校は平成19年度から武雄高等学校と武雄青陵高等学校が統合され、新設・武雄高等学校として新生すると共に、県立武雄青陵中学校を元の青陵高等学校敷地に併設し、中高一貫教育を開始しました。後輩の皆さんは「文武両道」のもと、勉学、部活動に日々努力を重ねています。

中でも今年8月には科学部が秋田県能代市で開催された「缶サット甲子園2009」に九州代表として出場し、激戦を勝ち抜いて見事優勝を果たしました。さらに9月にはアメリカ・ネバダ州ブラックロック砂漠で行われた競技会「ARLISS」に



日本代表として参加。現地では全長3mのロケットに缶サットを搭載し、日本の高校生として初の高度4000mからの空撮動画の撮影に成功しました。後輩の皆さんは「報恩感謝」「質実剛健」を校是として母校の歴史を重ねています。同窓生の皆様の温かい応援をお願いいたします。

我が母校、武雄高等学校



ご寄附、有難うございました。

このほど、同窓会へご寄付をいただきました。ここに記して謝意を表します。

- PTA武雄支部様…95,270円 H21. 5.14
- 武陵会東京支部様…50,000円 H21. 6.15
- 武陵会多久支部様…30,000円 H21. 9. 2
- 高5回卒業生一同様 100,000円 H21. 9.18
- 女37回卒業生一同様…10,000円 H21.10. 8
- 高11回卒業生一同様 100,000円 H21.10.23



高11回卒業生一同より武陵会会長へ

武陵会から武雄市へ「蘭書」の寄贈

長年、武雄高等学校同窓会・武陵会が所蔵していた武雄鍋島家旧蔵の「武雄の蘭書」138点を、平成20年9月30日に武雄市へ寄贈しました。この蘭書は昭和の中ごろ、郷土の後輩の教育の一助にと武雄鍋島家から武雄高等学校に託され、同窓会が所蔵し同校図書館に保管していたものです。さらに平成12年の武雄市図書館・歴史資料館の竣工に伴い、より良い保存環境で保管をとということになり同館に寄託されていました。

武雄鍋島家資料の多くは武雄市に寄贈され、歴史資料館で保存・展示されていて、市民の見学や研究者に活用されています。この「武雄の蘭書」も元々は武雄鍋島家で所蔵されていたもので、同窓会が所有管理することには無理があり、広く市で役立ててほしいと、創立百周年を記念して同窓会(石井義彦会長)から武雄市へ寄贈することになったものです。

武雄領主鍋島茂義は西洋の技術や文物を積極的に取り入れ、佐賀藩の近代化に大きく貢献しましたが、それらの資料を武雄市で収蔵、公開していただくために今回の寄贈になりました。現在、武雄市歴史資料館で12月13日(日)まで「武雄の蘭書展」という企画展で展示されています。

医療法人 永世会

谷口眼科

☎(0954) 23-3130

〒843-0022 武雄市武雄町385-2

理事長 谷口 亮 日本眼科学会認定 眼科専門医
院長 元田 正憲 日本眼科学会認定 眼科専門医
副院長 久保田 伸 日本眼科学会認定 眼科専門医

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~17:30	○	○	○	○	○	○

●土曜日は16:30まで受付いたします

●休診…日曜・祝日

詳しくはホームページ

谷口眼科

検索

お知らせ

平成22年度 武陵会 総会のお知らせ

●期日
平成22年5月16日(日)
午前10時～

●場所 武雄センチュリーホテル
当番幹事 末尾に2が付く
回卒のみなさん

これから開催予定の 同期会

●高27回生 平成22年1月2日
●高21回生 平成22年1月10日
●高26回生 平成22年2月13日

今後、開催される回の幹事の方は当日の様子など次回代会報に掲載したいと思っておりますので事務局まで一報下さい。

同窓会名簿の取扱いに ご注意ください

●昨今、同窓会名簿を悪用したような、オレオレ詐欺や振り込め詐欺など人の善意に付け込んだ事件が多発しています。本来、同窓会の名簿は会員相互の交流を目的に作成されたものです。くれぐれも

その使用にご注意ください。もし、不審な電話などがありましたら、最寄りの警察署にお届けください。

募集!

●武陵会会報とホームページに掲載する広告を募集します。ご希望の方は武陵会事務局までご連絡ください。
武陵会ホームページ
<http://www.buryokai.com/>
e-mail
buryokai@cablone.ne.jp

お悔み申し上げます

敬称略

岸川 絹子 (高女31回) 平成21年1月
西村 公子 (高女34回) 平成21年3月
松尾 照代 (高女37回) 平成21年4月
蒲地 綾子 (高女37回) 平成21年5月
真崎 フサエ (高女33回) 平成21年5月
山口 英子 (高女36回) 平成21年5月
川添 宏子 (高女33回) 平成21年5月
犬塚 登志子 (高4回) 平成21年6月
犬走 芳彰 (高4回) 平成21年6月

小宮 憲太郎 (高27回) 平成21年7月

川崎 千恵子 (高女35回) 平成21年7月

橋口 ノブエ (高女37回) 平成21年7月

平田 瑞枝 (高女34回) 平成21年8月

杉山 孝子 (高女37回) 平成21年9月

原口 文雄 (高5回) 平成21年9月

宮川 洋子 (高女36回) 平成21年10月

吉野 秀男 (中13回) 平成21年11月

福田 達雄 (高14回) 平成21年11月

今泉 辰子 (高女32回) 平成21年11月

事務局長へご連絡いただいた方々を掲載しました。ご冥福をお祈りいたします。



武陵会役員です

【顧問】井本勇(中11回)、石井義彦(中13回)、竹森唯幸(校長)

【会長】山口幹夫(高12回)

【副会長】荒川信義(高13回)、草場朝臣(高14回)、犬塚可得(高14回)、徳永壯太郎(高20回)、篠田いつ子(高20回)、尾崎葉子(高26回)

【会計監査】田代千鶴子(高14回)、光富義仁(高20回)

【事務局長】富岡正信(高21回)

【事務主任】川内元孝(高24回)

【東京支部】支部長・平川正己(高13回)、事務局長・橋口和則(高13回)

【関西支部】支部長・貝原俊民(併中2)、事務局長・樋口基子(高10回)

【福岡支部】支部長・田中恒房(高9回)、事務局長・水辺紘治(高15回)

【佐世保支部】支部長・松尾敏弘(高1回)、事務局長・山口及人(高5回)

【長崎支部】支部長兼事務局長・原口智春(高6回)、

【佐賀支部】支部長・凌文子(高12回)、事務局長・西田司(高18回)

【伊万里支部】支部長・古賀和夫(中13回)、事務局長・吉富伸克(高10回)

【多久支部】支部長・松尾榮(中11回)、事務局長・坂口広則(高28回)

各地にお住いで各支部への参加を希望される方は、本事務局までご連絡下さい。

うれしの茶のご用命は

株式会社 徳永製茶

嬉野市嬉野町温泉2区
電話0954-(42)-0560
徳永 壯太郎(20回卒)
徳永 和 久(49回卒)

※全国発送いたします

URL <http://www.japaneseteashop.com>



むかしも今も……

山 秀 有限会社

代表取締役 山口 幹夫 (高12回卒)

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町武雄7315
TEL(0954)22-2040(代) FAX(0954)22-2070